

灯



る。

政権交代して3年弱の短い期間で首相は3人目。自民党が自滅する中で期待感を持って登場した民主党政権は東日本大震災という想定外?のことがあったとしても、残念ながら合格点は付けない。民意を問う時期が

近づいているのは確かだろう。

近年選挙で問題になるのが1

差疑問
格の疑
のへ
票論
1正



草野 義輔

度あるのか疑問だ。

あえて問いたい。

人口比による1票の重さ比較は本当に正しいのだろうか。約37万平方キロの国土

票の格差である。最高裁も違憲状態という判断で、1票の重さが平等であることは民主主義の原則から誰も異論を挟みにくい。しかし、小泉政権以来、所得以外にもさまざまな格差が急速に広がり、その結果人口の1極集中で都市部の議席が増え、小さな県など議員は1人だけ、という状況も現実味を増してい

の大半は地方が支えている現実を直視すべきだと思う。正論らしきことに目を奪われ、国会で都市部出身者が大半を占めれば、日本という国の将来が極めて危ういと感じる。地方出身の政治家も都会ずれせず、地方の現状をしっかりと考える努力を望みたい。(昭和学习園高校理事 長・日田市)